

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	10 04 04	中期総合計画主要施策番号	5 09	担当課	部・課	建設部 道路建設課
事業名	道路計画調査事業				内 線	3421
					E-mail	michiken@pref.nagano.lg.jp
実施期間	H15 ~	根拠法令等	道路整備五箇年計画、全国総合開発計画、広域道路整備基本計画、地域高規格道路の指定			
実施方法	県が直接実施					国庫・県単 補助公共

事業の概要等	目的 (必要性)	長野自動車道などの高規格道路網と一体となって高速交通体系を築き、松本地域と糸魚川地域の交流促進・連携強化を図る道路として位置付けている地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の早期事業化に向けて、調査・検討を推進する。
	対 象	県内の道路利用者
	目指すべき姿	松本糸魚川連絡道路の起点部について、ルートを決める。
	事業内容	・関係機関との協議や地域のコンセンサスを得るために必要な調査及び概略検討を実施する。 (補助率1/3)

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額 (A)		千円	45,900	60,767	51,000	(H24への繰越額:43,096千円)
	決 算 額 (B)		千円	36,133	17,671	-	
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	24,089	11,781	34,000	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.34	0.58	0.49	
	概算人件費 (C)		千円	2,828	4,778	4,010	
概算事業費 (B(H24はA) + C)			千円	38,961	22,449	55,432	
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	左記以外のH23年度実績
	起点部のルート決定に向けた調査推進(活)		式	環境調査	概略ルートの検討	概略ルートの検討	起点部(安曇野地域)について、技術的に検討したルート帯を地元住民に提示した。
	雨中地区のルート検討(活)		式	費用対効果の検証・地元協議	-	-	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 1kmあたりの調査コスト		千円/ km	2,051	1,182	2,917	(効率指標算出式) 概算事業費÷19km(調査対象延長:19km)

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価	評価区分
	・起点部における、ルート決定に向けた地元住民との調整及び関係機関との協議を推進する。	・地元住民へルート帯を提示するとともに、長野自動車道の接続や河川渡河について関係機関と協議を推進。	b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定	・地域間連携や渋滞問題及び、交通の安全面からも依然として非常にニーズが高い。 ・国道147号・148号等は県管理道路である。 ・対策事業の実施に向けた調査検討にあたり、既存文献等も活用し、引き続き有効性かつ効率性に努める。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり	説明	
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	松本糸魚川連絡道路の整備は中期総合計画の主要施策「道路ネットワークの整備」における主要な取組みのひとつであり、必要性は高い。地域問題の早期解決に向けても必要性は高く、引き続き調査を行う必要がある。
	特記事項	起点部についてはH20年10月に長野県が一番有利な案と評価するルートを他の比較案とあわせて公表し、パブリックコメントの結果約8割の方の支持を得た。